

高城高等学校 校歌

一 あさあけの野^(う)べをおほふ

しろき霧^(え)のうへに

高千穂^{たかちほ}はひとり立ちたり

わが若^{わか}き日^ひのはるけきのぞみ

ここに芽^めぐみて ほこりにたたふ^(う)

ひとり立^たつものの よろこびを

とわ 永遠^{ふるさと}の故郷^{ぼこう} 母校^{たかじょう} 高城

二 黄昏^{たそがれ}の 空^{そら}にかかる

あかき星^{ほし}のしたに

銀杏樹^{いちようじゆ}はむつみ寄りたり

わが若^{わか}き日^ひの したしきおもひ^(う)

ここにあふれて 手^てをとりてうたふ^(う)

むつみ寄^よるもの よろこびを

とわ 永遠^{ふるさと}の故郷^{ぼこう} 母校^{たかじょう} 高城

三 はるかなる 時^{とき}をきざむ

日^ひ和^{しほ}の城^{しろ}のほどり

ふるさとほふかくねむれり

わが若^{わか}き日^ひの あらたのねがひ^(う)

ここに燃^もえたち ををしくもちかふ^(う)

すすみゆくもの よろこびを

とわ 永遠^{ふるさと}の故郷^{ぼこう} 母校^{たかじょう} 高城